韓国福岡青年会議所
会員・OB業種一覧

- ・中古遊技機販売
- ・輸出業
- ・遊戯業
- ・建設業
- ・不動産業
- ・防水工事業
- ・司法書士
- ・清掃業
- ・食品製造業
- ・食品卸販売業
- ・保険業
- ・ホテル業
- ・飲食業
- ・人材派遣業
- ・インターネット通信業
- ・ネット広告業
- ・アミューズメント機器製造
- ・販売業
- ・建築業
- ・産廃業
- ・遊技設備業
- ・不動産業
- ・ゴルフ場経営
- ・運転代行業
- ・運送業
- ・中古車販売業
- ・旅行業
- ・広告代理業
- ・サービス業
- ・非鉄金属買取業
- ・水道設備業
- ・建築板金業
- ・家電配送業
- ・墓石清掃業
- ・有料職業紹介業
- ・生花業
- ・OA機器総合販売
- ・信用組合
- ・イベント業
- ・印刷業

入会までの流れ

人種、国籍、性別、職業、宗教の区別なく、自由な個人の意志により20歳から42歳までの指導者たらんとする青年は青年会議所(LOM=Local Organization Member,ロム)に入会することができる国際的な団体です。

理事会・例会に出席 → 入会審査・面談 → 理事会にて承認 → 年会費入金 → 入　会

入会に関するお問い合わせは下記電話番号までお気軽にお連絡ください。

韓国福岡青年会議所

〒812-0016
福岡市博多区博多駅南3-15-28福岡県遊技会館202
Tel：092-451-6989 Fax：092-451-5185
Mail：kjc_korea@yahoo.co.jp
URL：http://korea-fukuokajc.jp

韓国福岡JC　検　索

Junior Chamber International
Korea Fukuoka

JCI™

韓國福岡青年會議所
Junior Chamber International Korea Fukuoka

JC（Junior Chamber）青年会議所って？

JCとは、簡単にいうと世界平和を実現する為に活動している団体です。

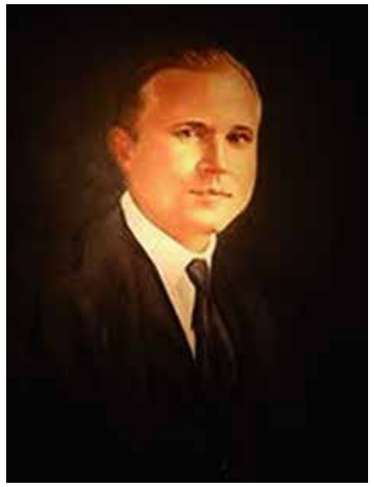
JCでは、その起点となる地域社会を活性化する為の事業を数多く行っています。

そして、その活動を共にし、志を同じくする会員同士が出会い、同じ汗を流すことによって、友情へと発展させること。

このような人間的な絆を都市から都市へ、国から国へと発展させ全世界が共となり、世界平和へと結びつけていく国際的な組織、それがJCです。

また、諸事業の実践過程を通じて自己の能力を訓練し、各々の仕事や世の中を正しく導いて行くための、リーダーシップ能力を鍛錬する場でもあります。

JCIの歴史



Henry Giessenbier
（1892～1935）

1905年アメリカ・ミズーリ州セントルイスの銀行員だったヘンリー・ギッセンバイヤーは、「社会において青年が真に活躍するようになるべきだ」と考え、1910年「ハーキュリアン・ダンス・クラブ」を起した。このクラブの活動をもとに、1915年その名称を「進歩的青年市民協会（ＹＭＰＣＡ）」とし、後に会員たちは、「若い市民」(Junior Citizens)と名称を変え、これが「JC」の最初の由来となりました。

1918年、セントルイス商工会議所と友好関係をもったJCは「若い市民」を「青年商工会議所」と命名し、1920年1月22日、類似する団体が彼の下に集まり、セントルイス青年会議所が一つの協議会のもとに形成されました。

1930年にJCがデザインされ、1944年メキシコ・シティにおいて「国際青年会議所」の設立決定がなされた。

以後、現在全世界で114か国が会員国として加入しており、全世界で6000ほどの地域で約17万人が活動しています。（韓国は会員保有国第４位）

JCIのビジョンとミッション

■ ビジョン/Vision （目指すもの）

道徳心と市民としての義務を基礎とする、この組織の精神の中から、いつの日か永久的で不変な世界平和の確立に向けて、人々を喚起するメッセージが現れることを願う。

要約すると

「恒久的世界平和の実現」

■ ミッション/Mission （ビジョン達成の為に果たすべき使命）

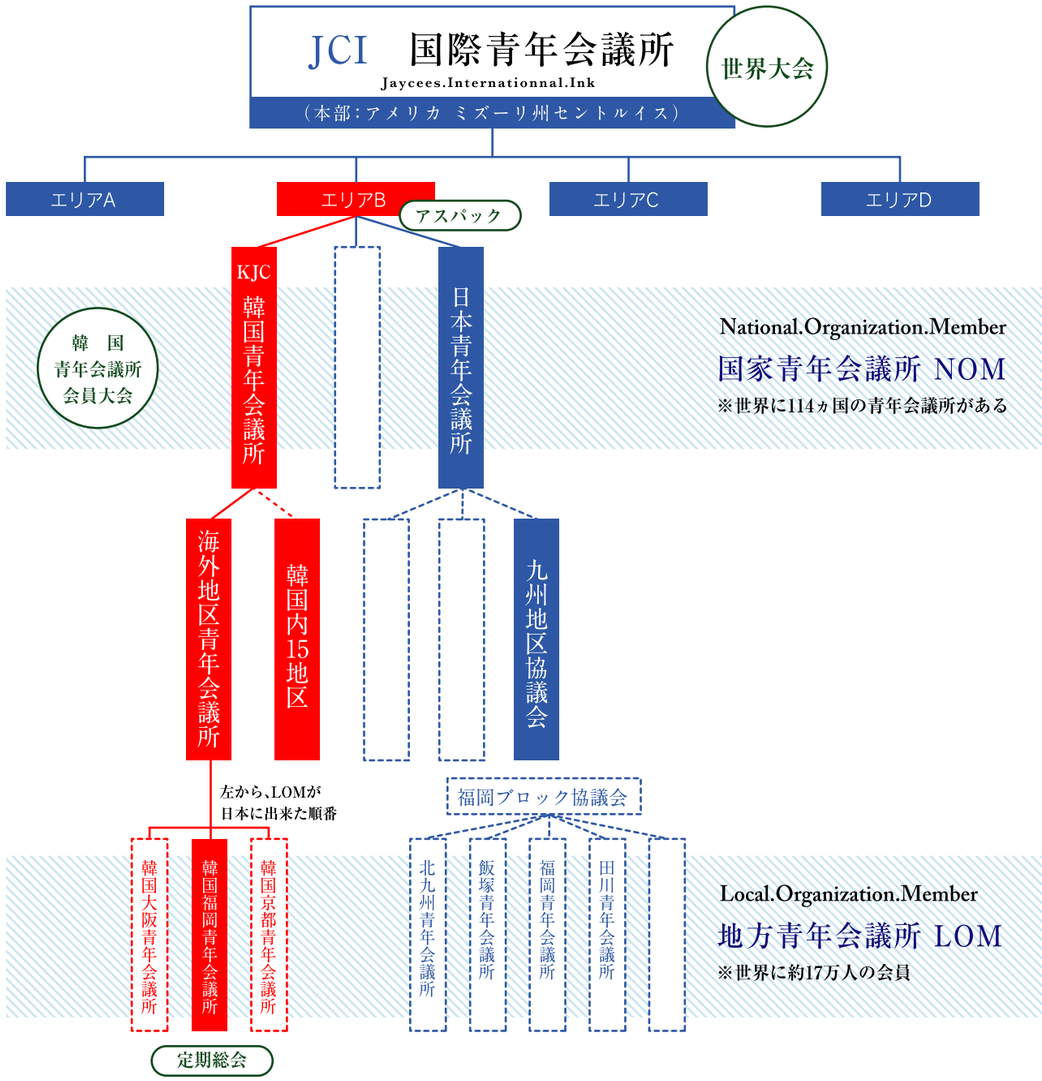
積極的な変化を創り出すのに必要な指導力の開発、社会的責任、企業家精神、及び友情を深める為に青年に機会を与えることによって、国際社会の発展に寄与すること。

要約すると、KJCの四大理念となる

「地域社会開発」「指導力量開発」「国際親善」「事業機会開発」

を通して、ポジティブチェンジ（積極的な変化）を起こし、国際社会の発展に貢献する。

JCIの組織形態

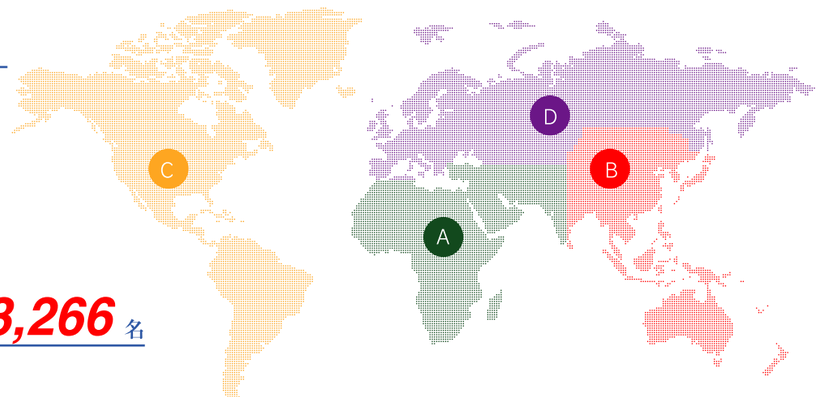


JCの会員国・地域別

エリアA	アフリカ
エリアB	アジア・太平洋
エリアC	北米・中南米
エリアD	ヨーロッパ

NOM数	114ヵ国
LOM数	4,784

会員数 **173,266** 名



韓国JCのOB

国会議員

チョン・ガピュン（1985年 韓国JC副会長）
ガン・ショホ
キム・ドンチョル
キム・セヨン
キム・ヨンテ
キム・ウナム
キム・ハンピョ
ナム・ギョンピル
ムン・フィサン（民主統合党　非常対策委員長・韓国JC第34代中央会長）
パク・ホングン

産業界と学界

ガン・シンホ（前経済連盟会長、東亜薬品代表取締役会長、1967年中央会長）
ゾ・チュンゴン（現大韓航空代表取締役副会長、1970年中央会長）
イ・チョンム（現ハンラ大学総長、1977 年中央会長）
全・ゼウッ（現慶東大学名誉学長、1979 年中央会長）
ゾ・チョンソン（現アーチェリー協会会長、1984 年中央会長）
ガン・シンソン（現ボブスレースケルトン競技連盟会長、1997 年中央会長）
グ・テヒョン（現 LS 電線名誉会長、韓国 JC 副会長）
キム・ウンス（現ハンド副会長、韓国 JC 副会長歴任
他多数

JCIの歴代OB（50音順）

世界のOB

アル・ゴア（米国、元副大統領、環境問題研究家）
アルベール2世（モナコ公国、モナコ大公）
ヴァルター・シェール（ドイツ、元大統領）
ウォーレン・E・バーガー（米 最高裁判所首席判事）
ウォルター・モンデール（米国、元副大統領）
ウゴ・バンセル・スアレス（ボリビア、元大統領）
コフィー・アナン（ガーナ共和国、元国際連合事務総長）
ジェラルド・R・フォード（米国、元大統領）
ジャック・ルネ・シラク（フランス、元大統領）
ジョセフ・エストラーダ（フィリピン、元大統領）
ジョン・F・ケネディ（米国、元大統領）
セサール・ビラタ（フィリピン　元首相）
チャールズ・リンドバーグ（米国、飛行家）
トーマス・S・モナハン（米国、ドミノピザ創業者）
ハーブ・グレイ・カールトン（カナダ　元副首相）
ハビエル・ペレス・デ・クエヤル（ペルー、元国際連合事務総長）
ハワード・ヒューズ（米国、実業家、大富豪）
ヒューバート・H・ハンフリー（米国、元副大統領）
ビル・クリントン（米国、元大統領）
ビル・ゲイツ（米国、マイクロソフト創業者）
ピーター・ジェニングス（米国、ニュースキャスター）
ビート・ウィルソン（米国、政治家）
フレデリック・ウィレム・デクラーク（南アフリカ共和国、元大統領）
ポール・セルタ（デンマーク　元首相）
ラリー・バード（米国、元NBAプロバスケットボール選手）
ラリー・ホームズ（米国、元プロボクシングヘビー級チャンピオン）
リチャード・ニクソン（米国、元大統領）
ロルド・レーガン（米国、元大統領）
陳水扁（台湾 元台湾総統）
他多数

日本のOB

麻生太郎（元内閣総理大臣）
石川六郎（鹿島建設名誉会長、日本商工会議所名誉会頭）
石原伸晃（衆議院議員）
市川團蔵（歌舞伎役者）
伊藤次郎左衛門（伊藤財閥/松坂屋創業家・名誉会長）
稲尾和久（元プロ野球選手）
犬丸一郎（元帝国ホテル社長）
岩波雄二郎（岩波書店会長）
小渕恵三（元内閣総理大臣）
菅直人（元内閣総理大臣）
小泉純一郎（元内閣総理大臣）
越本隆志（元プロボクシングフェザー級王者）
坂田藤十郎（歌舞伎役者、人間国宝）
千玄室（茶道裏千家15代家元、国際ロータリー日本財団会長）
高須克弥（高須クリニック院長）
堤清二（セゾングループオーナー）
鳥井信一郎（元サントリー会長）
中曽根康弘（元内閣総理大臣）
服部禮次郎（セイコー名誉会長、和光会長）
鳩山由紀夫（元内閣総理大臣）
平尾昌晃（歌手、作曲家、モンブラン国際文化賞）
平田恵介（ソフトオンデマンド初代社長）
藤原雄（陶芸家、人間国宝）
堀井学（元スピードスケート選手、リレハンメルオリンピック銅メダリスト）
森稔（森ビル社長）
森喜朗（元内閣総理大臣）
森岡賢一郎（作曲家、編曲家）
梁瀬次郎（ヤナセ会長）
与謝野馨（衆議院議員）
他多数

JCIの活動チャンス/得ることができること

個人的チャンス

指導力量開発

- リーダーシップの技術
- 意思疎通の技術
- 時間管理
- 想像力／チーム作り
- 人間関係

組織作りのあり方･コミュニケーションのあり方を学ぶ機会

地域的チャンス

地域社会開発

- 地域住民と密着
- 団体長との連携
- 地域社会奉仕
- 関連機関の協助
- ＮＧＯ活動

地域での実戦経験を通じて、問題解決能力と人脈開発の機会

JCI™

国際的チャンス

友情･国際親善

- 外国語能力
- ＬＯＭ間の姉妹関係
- 国際的プロジェクト
- 世界大会･ＡＳＰＡＣ
- 海外旅行

世界各地にいる会員と親善を図り、ネットワーク構築の機会

事業的チャンス

事業機会開発

- 会員相互間取引
- 事業管理訓練
- 人脈の活用
- 会員の企業訪問
- 予算／決算管理

組織の中でリーダーシップを培い、事業の管理技術習得の機会

韓国福岡青年会議所の独自性

1 当会では韓国人･日本人が共存しているため、両国の文化が融合していることも大きな独自性の一つとしてあげられます。韓国の文化を学びながら、JC活動を行うことができ、こういった異文化交流は、JCの目的である世界平和に大きく繋がります。地域社会貢献活動, 国際親善活動などの様々な事業を通じて自己研鑽を重ねながら, 常にグローバルな環境に身を置くことができるのは、他団体では経験することができない当会ならではの大きな魅力の一つと言えます。

2 当会が所属する海外地区青年会議所は, 本部が韓国にありながら日本で活動を行っていることから、LOM(Local Organization Member,ロム)が所在する地域(地元)だけに捉われることがなく、幅広い活動を行うことができることから、よりワールドワイドに広い視野で物事を考えられるという側面があります。従って、国と国をつなぐ懸け橋として、レベルの高い国際交流(主に韓国)を行うことができます。

3 役職の任期は１年であることから, やる気と向上心さえあれば会員誰しもが責任のある様々な役職(会長, 副会長, 委員長など)を経験することができ、その役職の経験を通じて、経営者として、また１人の人間として、自分自身を大きく成長させることができます。

JCIの理念のもと、毎月1回様々な事業を例会として行っております。

田川翔魂之碑参拝事業

かつて田川の地に、炭鉱労働にて命を落とした労働者の無縁仏が無数存在いたしました。日本の産業化を支えたこのような先人者に感謝の気持ちを込め、供養塔として「翔魂之碑」を建立し、毎年の継続事業として参拝させていただいております。

韓日親善少年スポーツ大会事業

韓国と日本を繋ぐ架け橋の事業として、毎年少年スポーツ大会を開催しております。両国の少年の国際交流を目的としており、スポーツのみならず、懇親会・交流会を設け未来を担う子供達の相互理解と国際的感覚を身につけられるよう実施しております。

講演会事業

指導力量開発の一環として、著名人をお招きしての講演会を実施しております。

≪過去の講演会実績≫

・星野仙一氏・古田敦也氏・山口良治氏、その他多数実施

様々な交流会

積極的に他団体や韓国 JC との交流を行っています。

様々な方と知り合うことができ、自身の能力向上やビジネスにも繋がっていきます。

JCI 韓國福岡青年會議所
Junior Chamber International Korea Fukuoka
JCI Korea Fukuoka Activities
韓国福岡青年会議所の活動内容

ＪＣＩ世界大会･ＡＳＰＡＣ

ＪＣＩ－世界大会
世界中の会員が集う、世界でも有数の規模を誇る民間団体国際会議
ＪＣＩ－ＡＳＰＡＣ
アジア太平洋地区の会員が集う国際会議

毎年開催地を変えて開催されており、開催期間中は、各国青年会議所会長会議、総会、といったＪＣＩの組織運営に 関する会議だけでなく、これからの各国のリーダー育成に必要なテーマに基づく様々なセミナーや 会員の資質向上を目的とした分科会などが行われます。
国際会議では、「主管地域青年会議所による 独自プログラム･郷土色を打ち出したトレードショー」「顕著な功績を残した組織、個人を称える セレモニー」「国際的な交流を深めるためのレセプション、パーティー」等が複合的に絡み合った 貴重な国際交流の機会です。

韓国福岡青年会議所に入会しての体験談

入会２年目　遊技業経営者　30歳

父と友人の勧めがきっかけで理事会･例会に参加するようになりました。様々な会議の場で、積極的に意見を出し合っている様子を見て、また自分では思いつきもしなかった考えをもっている先輩方の意見を聞いて、自分は同じような事はできないなと感じ、この会で勉強させてもらいたいと思った事が入会理由です。

韓国福岡青年会議所に入会する事になり、例会･理事会を通して、自分の会社と自分自身に足りない事に気づき、それを改善する努力をする事で、少しずつではありますが確実に良い方向へシフトチェンジできているのを感じます。

また、JCを通じて多くの先輩･後輩と出会えた事で、尊敬できる人･目標にしたい人･負けたくない人etc.ができ自分自身への刺激にも繋がっています。

JCは魅力のある方々が集まってくる場であると思います。僕が転役するまでの残り11年間で、JCを通して出会う方々の背中を見て、かっこ良い大人とは何なのかをみつけていければと思っております。

入会3年目　飲食店経営者　38歳

先輩の誘いを受けまったく訳も分からず入会しました。様々な例会･理事会に参加し、自分の会社より何倍も大きな会社を経営している人の話を、一緒に食事しながら、お酒を飲みながら直接聞く事ができます。様々な経営者の失敗談や成功談を聞き、自身の仕事に対するモチベーションが強く刺激されています。

また、韓国の青年会議所ということで堅苦しくイメージされがちですが、実際は日本国籍の方も多数在籍しており、国籍を問わず一体感のある組織だと実感しています。

入会４年目　販売業経営者　40歳

知人の誘いを受け入会いたしました。ロータリークラブに９年前から所属していて、併行して活動していますが、年齢的に同年代の経営者が多く、何より熱意をもってＪＣ活動をする会員皆さんに魅力を感じました。

自身の自己改革に繋がり、より人間性を高めることができ、会員皆さんと仲良くなれる。知識も見解も大きく広がり、韓国との交流がある。自分自身にとってプラスになることが多く、貴重な体験をさせてもらっております。

入会10年目　輸出業経営者　41歳

知人の誘いを受け、もともと好奇心が旺盛な性格であることもあり、気軽に入会いたしました。10年間この会に属しておりますが、これまでにかけがえのない体験をさせていただきました。多くの刺激を与えてくれる、先輩･後輩、そして海外の友人との出会い。また、対外的な場で話をする発言力や、委員会事業での企画力･会議の進行力や運営力･動員や協力要請の過程でのコミュニケーション力やモチベート力など、通常の仕事だけでは体験できない貴重な経験を積むことで、大きな成長につながりました。そして様々な事業を通して社会に貢献できていることが大きな財産になっております。

JCI 韓國福岡青年會議所 Junior Chamber International Korea Fukuoka
JCI Korea Fukuoka Member's Voice

韓国福岡青年会議所に入会しての体験談

入会２年目　設備業経営者　30歳

同業者の方の誘いを受けオブザーバーとして参加し、仕事だけでの世界は交流関係が狭いので、様々な立場の方と知り合うことができると思い入会しました。

アスパック、世界大会にて、様々な国の方との交流を通して海外の風を感じることができて、非常に貴重な経験になりました。

また、理事会でのロバート議事法にのっとった議事進行は、他団体や、会社でも応用できるようになり、勉強になります。

入会２年目　水道設備業経営者　40歳

友人の話を聞いて興味を持ちました。何度かオブザーバーとして参加してみて、自分に足りないモノを勉強できる場所だと思い入会いたしました。

実際に入会し、普段の仕事だけでは出会えない多くの友人ができましたし、少しずつですが、苦手な部分を克服できていると感じています。

入会８年目　遊技業経営者　36歳

知人に誘われ、オブザーバーとして理事会や例会に参加させていただくようになりました。最初に理事会に行った時は、何を話しているのか全く焦点が見えませんでした。入会に関しては、仕事上･成り行き上、断わる選択肢はありませんでした。

しかし、入会して良かった事についてはたくさんあります。その中の大きな事として、「多くの人の価値観を知る事ができた事」が挙げられます。仕事であれ何であれ、私達の人生は決断の連続であると思います。例えそれが他人に流された決断であろうとも、自分が諸々を決断する事には変わりはありません。私は何かを決断する時に大事な事は、それぞれの価値観だと考えております。その人にとって、何が大事なのか？何が大事ではないのか？また、その価値観の質は、いきなり高まるものでもなければ、勉強したからと言って高まる事もありません。価値観は、他人との価値観と触れた時や、何かしらの経験を積み重ねて、その質を高められると考えております。

好き嫌いの様に、質の低い価値観であれば、そのレベルの答えしか出すことしかできませんが、質の高い価値観を持てば、高いレベルの答えを出せるはずだと考えております。

その様に価値観について考えていますので、ただ仕事をしていただけでは、出会えない価値観と出会う事ができたという事は、入会して良かった事になるかと思います。そうして、出会えた価値観は、他人の見習うべきものは吸収し、自分の人生や仕事等で何かしらの決断をする時にその質を高めてくれるし、逆に、見習えない価値観は、似たようなものが自分の中にあるかもしれないと、見直す機会を与えてくれるからです。